



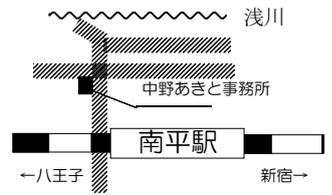
検索・中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正



法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



物価高騰、市政不正疑惑、災害対策、保育園待機児童問題 6月市議会でも問われていく

6月2日から20日まで、令和4年度第2回の定例市議会が行われています。この市議会に向けて日本共産党市議団は、次のような問題を重点に臨んでいます。

― 急激な物価高騰 ―

暮らし営業に緊急の手立てを
暮らし営業に緊急の手立てを
生鮮食品12・2%、食用油36・5%、電気代21%、都市ガス代23・7%、ガソリン代15・7%など、この間の急激な物価高騰が暮らしを直撃しています。低所得の方々の生活への影響、学校給食や保育園給食、介護施設や障害者施設の食事提供への影響、さらに市内の商業・工業・農業を支える方々の生業への影響も懸念される事態です。市として実態を把握し、緊急に必要な支援を行うことが必要です。

― 元副市長をめぐる不正 ― 問われる市の責任はチェックを放棄

川辺堀之内区画整理組合をめぐる不正は、6億7400万円。河内久男元副市長をはじめ理事・監事、職員、委託事業者すべての関係者に及ぶ前代未聞の事態です。

大坪冬彦市長は、主導した河内氏の悪行を「見抜けなかった」と述べていますが、以前は行政として行っていた様々なチェックをことごとくやめてしまっていたことが判明しました。行政

としてやるべきことをやらずに放棄した結果引き起こされた問題であり、市の不作為、責任が問われる事態です。

― 災害対策ごとく吹く風 ―

三沢3丁目の緑地がバツサリ
多摩丘陵に位置する三沢3丁目の緑地がバツサリ削られ、周辺住民のみならず、「雨季に入り土砂崩れが心配」「いったいこんなことが許されるのか」といった不安や怒りの声が上がっています。この緑地を有する地域は、宅地造成規制法、東京都自然保護条例等で規制の対象となっており、厳しい開発基準による許可が必要とされています。その許可前に、正当な理由なき樹林伐採などの工事は許されないこととなっています。

事業者は、この地域にある地下壕調査を理由として届出をしていますが、実態は調査の範囲を超えた開発のための事前工事の疑いが出てきており、その結果、土砂崩れが懸念される事態となっています。

日野市、東京都は、連携してそれぞれの責任と権限を發揮し、事業者に毅然とした対応・指導を行うとともに土砂崩れ防止・安全対策を緊急に講じさせることが必要です。

《お知らせ》
次号は、7・8月合併号とします。

― 保育園は増やさないと？ ― 求められる量質の充実

日野市は、この間の実態をとらえ、今後とも入所申込者数や待機児童数、未就学児童人口の減少傾向が続くとの認識で、保育園の増設に消極的な姿勢に終始しています。

しかし、コロナ禍の影響もあるとされるこの間の減少が、そのまま続くととらえてよいのか。出生率を増加させるための少子化対策と矛盾する認識・対応ではないのか。また、この間の定員を超えた子どもの受け入れ詰め込みを解消し、保育士配置基準を改善して保育の質を高めていく観点で保育園は量質ともに充実が求められているのではないかと、様々な観点からの検討・対応が必要です。

盛況だった 難聴問題学習会



5月15日、年金者組合日野支部などが行った「難聴問題学習会」。大勢の人が参加し関心の高さがうかがえました。(裏面に関連記事)

短信

財源は増税か、暮らしの予算削減か、国債発行か。岸田政権がすすめる大軍拡。自民党の提言によれば、防衛省の予算は今の2倍の11兆円に跳ね上がる▼国交省予算は6兆円、文科省は5・2兆円、両方足してやっと追いつく。日本は一気に世界第3位の軍事大国に▼日米会談の結末を「これは対米公約か」と追及する共産党小池書記局長に、「約束ではない。考えが一致した」と答える首相に説得力はない。米大統領面前で「相当な増額」発言は消しようもない事実だ▼5月29日のNHK日曜討論。国会頭越しの対米公約は不問のまま「行け行け軍拡」の突撃フラッシュばかり。「総理の増額発言は重要」「増額は避けて通れない」「必要なものは増やす」「1%枠にとらわれず見直す」「増額の議論はすべきだ」などなど…▼不法な侵略による国連憲章違反はロシアだけでなく、アメリカだって繰り返してきた。その戦略のもとでの大軍拡ではないのか▼アベノミクスなど失政による物価高、縮小国民の収入。気がつけば日本は成長できない国になっている。専守防衛の大原則を投げ捨てれば「平和の国」という看板も失うだろう▼落語の五代目古今亭志ん生師がよく言っていた。「落語なんてものはお客様次第だからあなた方がしっかりしなくっちゃいけない」と。お客は苦笑いだが政治に当てはめれば至言となる。「今度の一票」には子や孫の未来もかかっている。

「北野街道にバス停をつくる会」が日野市に要望 南平4丁目にバス停を



▲(右)日野市に申し入れる「つくる会」の住民と中野あきと市議



5月25日「北野街道にバス停をつくる会」は、中野あきと市議とともに3回目となる大坪市長宛のバス増設要望書を提出しました。「会」は、これまで2回のバス停設置の要望を行い、南平4丁目に「南平体育館入口」バス停が設置されました。

— 今回の要望は次の2点です —

① 拡幅が完了した南平4丁目5-5付近(向かい側がビデオショップ)に、バス停を設置する。

② バス停で待っている乗客に運転手による行き先案内「アナウンス」を徹底する。

要望を受けた日野市の都市計画課長は、「市としては可能なところから設置していく。要望された場所については現在、警察、東京都南多摩西部建設事務所と協議中。条件が揃った段階で日野市公共交通委員会に提案する」

「行先案内は、京王バスとの定例会合で徹底を図っていく」と答えました。

中野あきとの《日野市・ここに注目》

① 西の今治、東の日野/地元農業と学校給食

「地元産農産物を活用した学校給食ということ言うと、西の今治市、東の日野市と言われているんですよ」先日お邪魔した日野の農業をリードしてきた農家の方から率直な思いが寄せられました。

日野における学校給食への地元産農産物の活用は、開始から40年近くの取り組みをへて、全小中学校25校で実施し、地元農産物の利用率も30%に及んでいます。栄養士が地元産農産物を活用した献立を考え、農家の方々が低農薬で安全、新鮮な農産物を提供し、調理員のみなさんがイチから手作りで作り

上げる給食は、おそらく全都、全国にもあまりない取り組みと言えるのではと思います(今治市は有機野菜の給食への提供で注目されています)。

この取り組みは様々な仕組みや制度で支えられていますが、中でも、今から12年ほど前に制定された「学校給食契約栽培品目等供給奨励金制度」は重要です。ニンジン、長ネギ、ジャガイモ、玉ねぎなど8品目を学校給食に供給すればキロあたり60円支給するという制度で、給食への地元産野菜の提供を促進する役割を果たしています。さながら農産物の価格補償的な意味を持つ制度として農家のみなさんからも歓迎されている制度で、さらなる拡充が期待されています。(つづく)



[ウクライナ緊急支援募金]

中野あきと事務所でも受け付けています。日本共産党へは5月17日現在、1億7千万円が寄せられています。

市政ミニ・ニュース

■聞こえの相談・補聴器補助制度・アフターケアの支援について

市議会への請願など市民の運動が実り、日野市は今年度、言語聴覚士による聞こえの相談会を開催しながら医師会などと協議して、補聴器補助制度を整えていくとしています。全都・全国的に様々な補助制度が実施に向けて動き始めている中、より充実した補助とアフターケアの支援が実現されるようがんばります。引き続き要望やご意見をお寄せ下さい。

■来年4月から18歳までの子どもの医療費が無料に

日野市では、15歳までの医療費が無料になっていますが、東京都が来年4月から18歳までの医療費を無料にする方針を打ち出したことを受け、市でも18歳までの医療費を無料にすることになりました。しかし、小中学生も、今回拡充される高校生も、所得制限がかかっており、その撤廃等が切実な課題となっています。日本共産党市議団、都議団は所得制限を撤廃し、すべての子どもの医療費を無料にすべきと提案しています。

<日野のちょっと昔 (その4)> 浅川の夏の風物詩「駒形の渡し」

—南平5丁目と川辺堀之内を結ぶ—



夏、川辺堀之内にある日野市民プールの営業期間、浅川に「駒形の渡し」が運行されていました。南平5丁目と対岸の川辺堀之内の日枝神社あたりを運行。プールの営業時間に随時運行され、誰でも無料で利用することができました。

浅川のこの辺は、上流の一番橋と下流の高幡橋の間にあり、対岸へは相当に遠回りしなくてはなりません。この「駒形の渡し」は乗っている時間は数分間でしたが、容易に対岸に渡ることができました。この「渡し」は1980年(昭和55年)に運行が開始され、浅川の「夏の風物詩」でしたが、2012年(平成24年)に廃止されました。

写真は、14年前の2008年(平成20年)の7月17日に、南平側から撮影した「駒形の渡し」の運行風景です。

[2022年7月の無料法律相談日]

■14日(木)午後1~3時 日野市役所6階共産党控室
(お申込み) わたなべ三枝・清水とし子事務所

☎042-582-1042

◎法律相談以外のお困りごともお気軽に

中野あきと事務所 ☎042-599-3350

しんぶん
赤旗

日刊●月3497円 日曜版●月930円

◎短期間のお試し購読。一部売りも。

お気軽にお申し込みを。中野あきと事務所